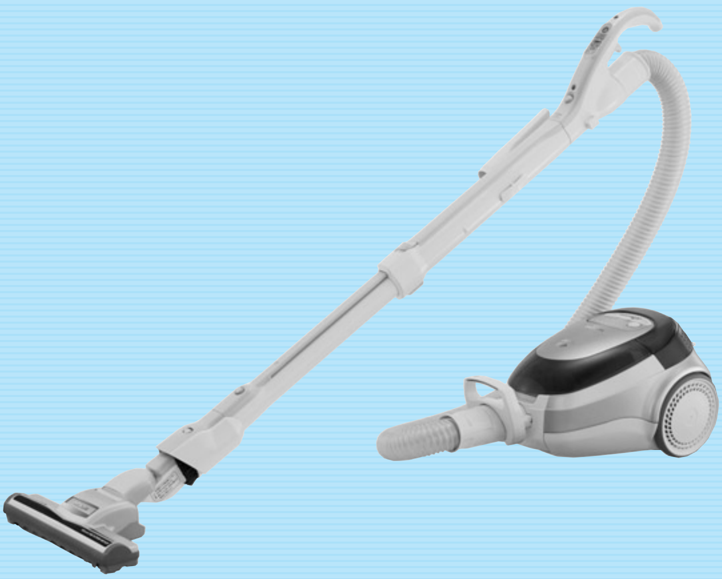
取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式
CV-SL10



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔ P.6〜7 をお読みいただき、正しくご使用ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

使いかた

お掃除が終わったら

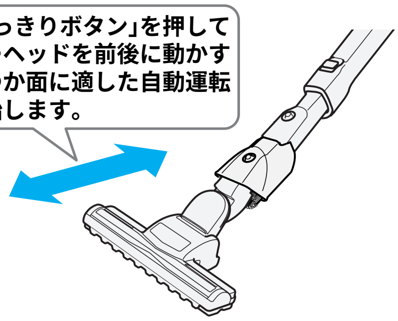
こんなときは

特長とお願い

これっきりボタンを押すだけで自動運転！「ごみ
「ごみダッシュ」で、ごみ捨て簡単・清潔。

ごみハンターヘッド

「これっきりボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り換えます。 ➔ P.9、10



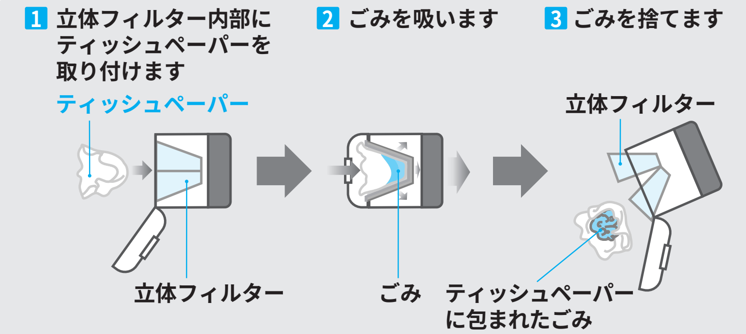
センサーは、次のようなことを感知して、自動で運転を切り換えます。
- ●ゆか面の凹凸や傷み
- ●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合
- ●パワーヘッドの操作速度および方向転換
- ●パワーヘッドの停止

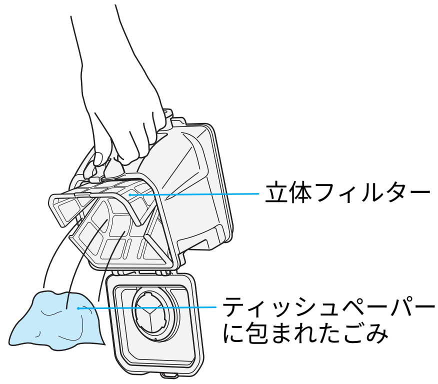
このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り換わることがあります。

ごみダッシュ　パッと飛び出す！清潔ごみ捨て

吸い込んだごみがワンタッチで飛び出し、簡単に捨てられます。 ➔ P.14

ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。 ➔ P.16





- ●ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
- ●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
- ●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。
- ●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります。

●サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、ダストケースのお手入れが必要です。 ➔ P.14〜18

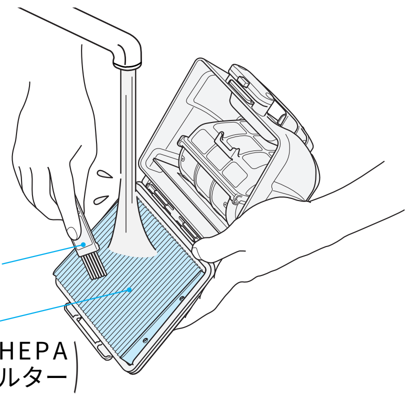
ハンターヘッド」

ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

洗えるダストフィルター　水洗いすれば、強力パワーが復活

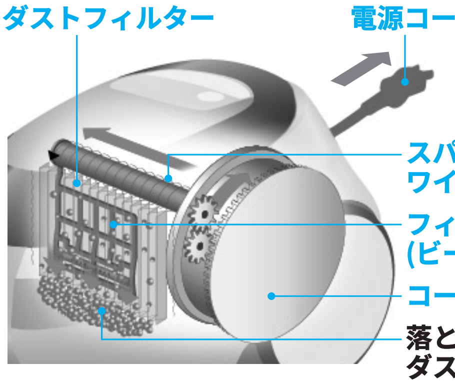
チリ離れ性、耐久性に優れた、新素材のダストフィルターを採用。
付属の「抗菌お手入れブラシ」を使って水洗いすれば、強力パワーが復活します。



- 本体のランプで、お手入れ（水洗い）の目安をお知らせします。→ P.17
- 付属の「抗菌お手入れブラシ」以外のブラシは使用しないでください。
- 水洗い後は、必ず自然乾燥させてから本体に取り付けてください。
  乾燥には約12時間必要です。（乾燥時間は、環境や季節によって異なります。）

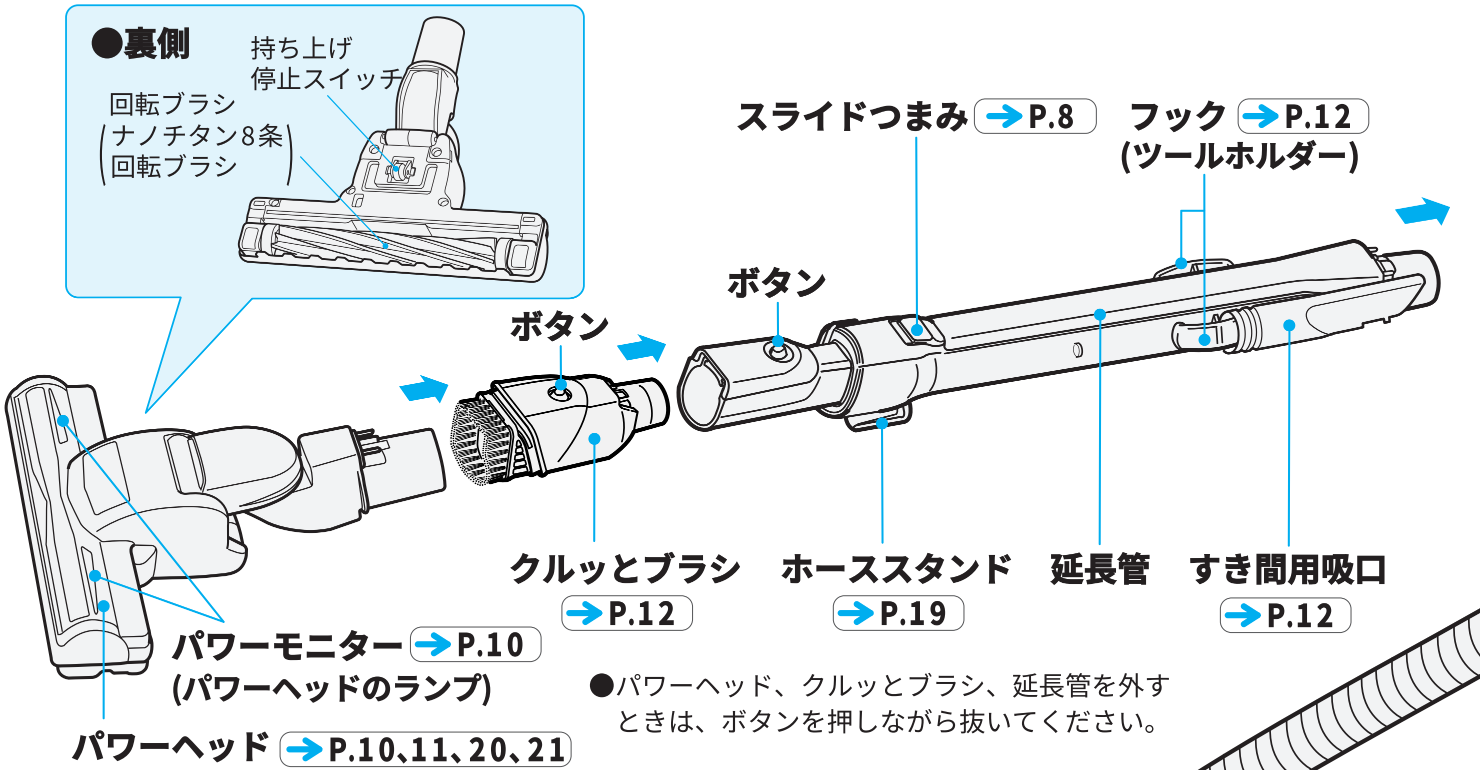
Wブルッとエンジン

電源コードを引くと、「スパイラルワイヤー」がダストフィルターを強力に振動させ、さらに「フィルターカバー(ビートパネル)」がダストフィルターをたたいて、付着したチリを落とします。
お掃除のたびにフィルターが自動でリフレッシュされるので、強力パワーが長持ちします。

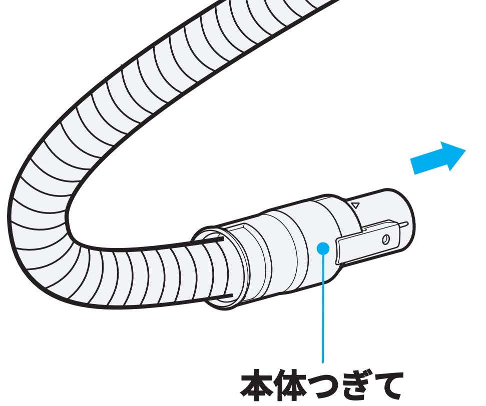


- チリ落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- 必ずダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。
  ダストケースを取り外したまま電源コードを引き出すと、スパイラルワイヤーの回転やフィルターカバーの振動で、手などをけがすることがあります。
- 電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音は「Wブルッとエンジン」の音ですので異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、チリ落としをしません。

各部のなまえと組み立てかた

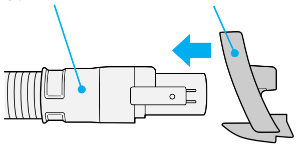


●パワーヘッド、クルッとブラシ、延長管を外すときは、ボタンを押しながら抜いてください。

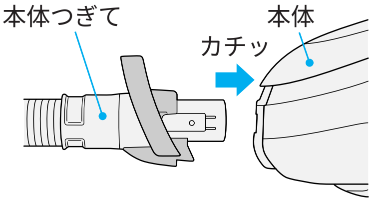


サッとハンドルの取り付けかた

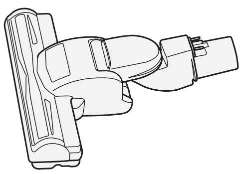
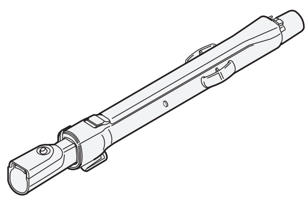
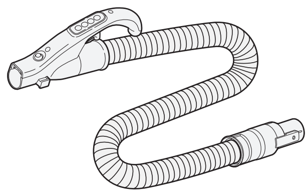
1 サッとハンドルを本体つぎてに取り付ける



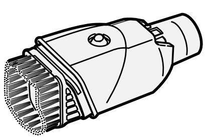
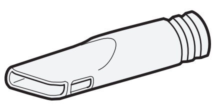
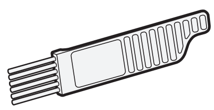
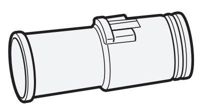
2 本体つぎてを本体に差し込む

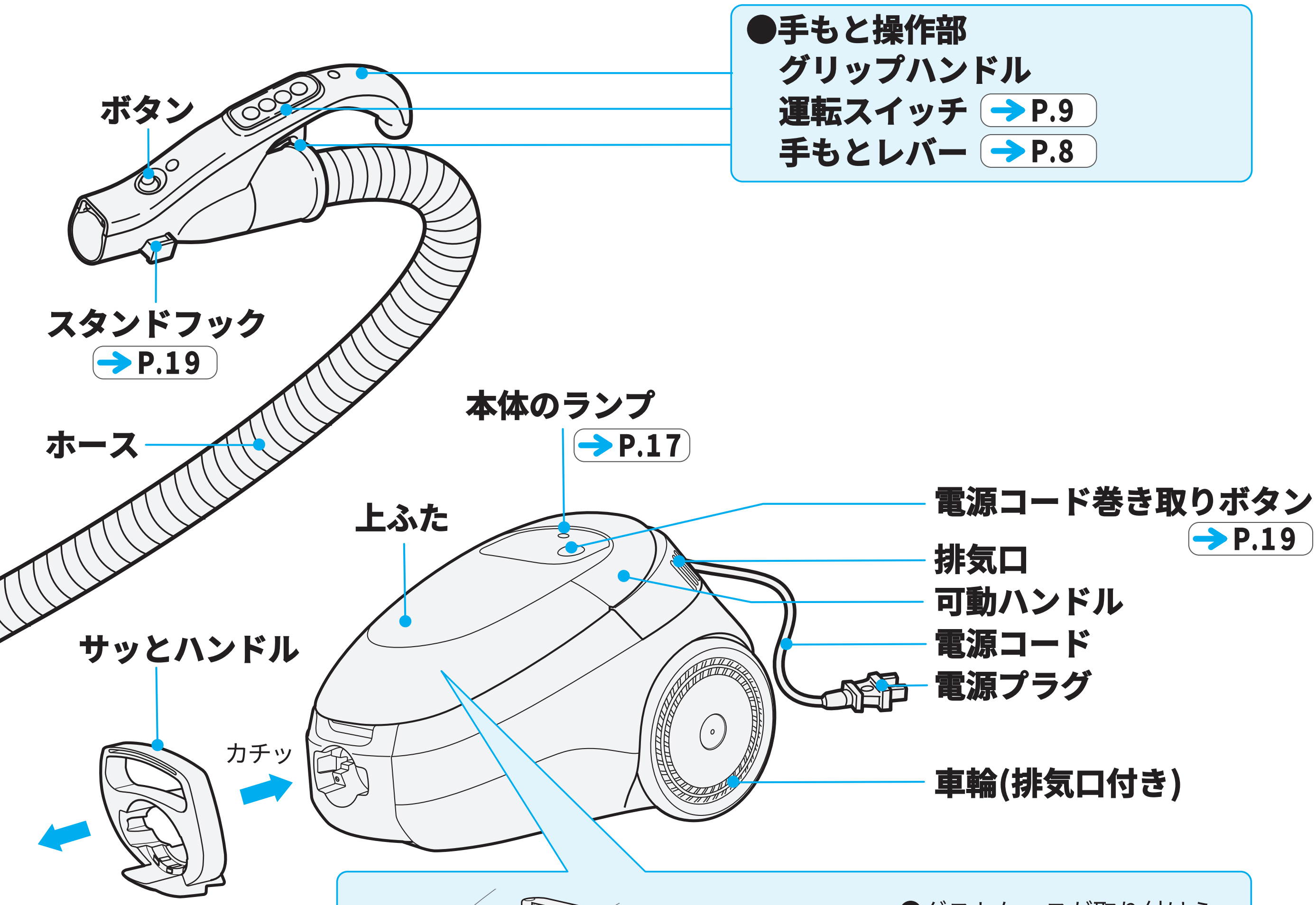


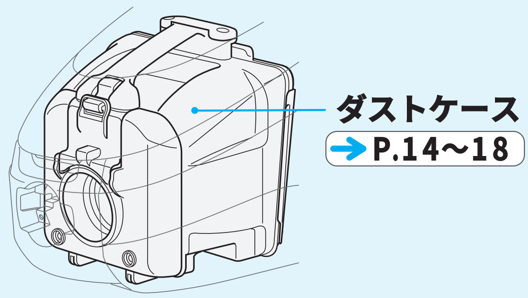
標準付属品

パワーヘッド（1個） （抗菌消臭イオンワイドパワーヘッド）	延長管（1本） （サッとズームパイプ）	ホース（1本）
		

付属応用部品

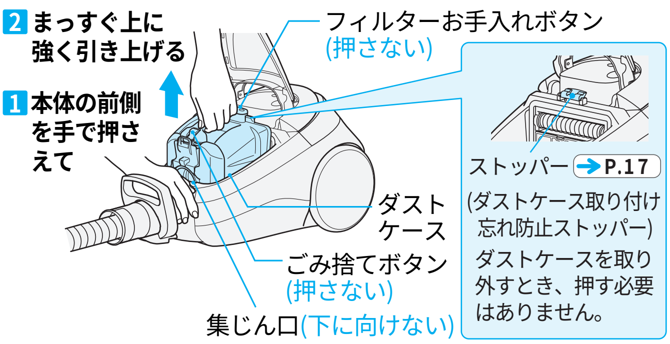
クルッとブラシ （1個）	すき間用吸口 （1個）	サッとハンドル （1個）	抗菌お手入れブラシ （1個） (ダストケース底面に取り付けられています)	別売り部品接続用 アタッチメント （1個） ➔P.13
				





- ●ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では上ふたが閉まりません。➔P.17
- ●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、「ピー」という音がすることがあります。

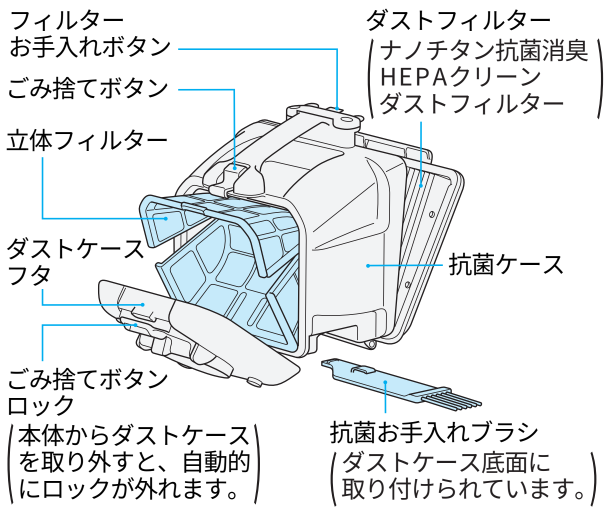
ダストケースの取り外しかた



お願い

●ダストケースを取り外すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けないでください。
ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースの構成



安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

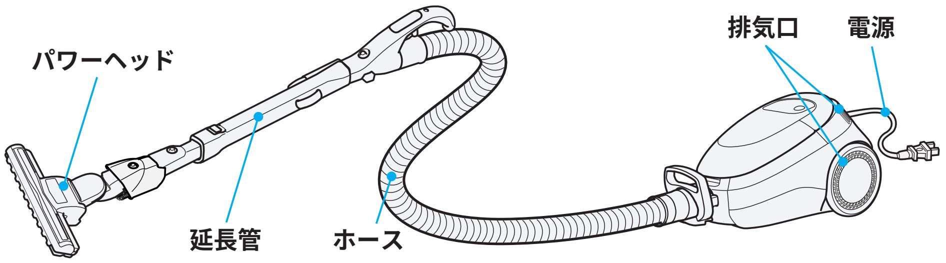
■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
●	必ず実行していただく「指示」内容のものです。



⚠ 警告

●火災・感電・けがを防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)

- **●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
- **●電源プラグは根元まで確実に差し込む**
- **●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  また、ぬれた手で抜き差ししない
- **●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る**



- **●電源コードを傷つけない**
  （傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
- **●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない**
- **●電源コードを回転ブラシに巻き込まない**

パワーヘッド

- **●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない**
  特にお子さまにはご注意ください。



そのほか

- **●絶対に分解したり修理・改造しない**
- **●水洗いや風呂場での使用は絶対にしない**
- **●灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない**



●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

⚠注意

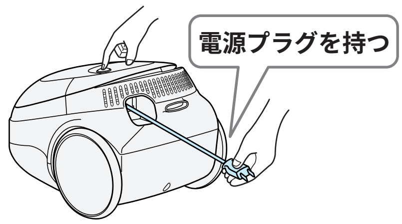
●発火・ショート・けが・故障を防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

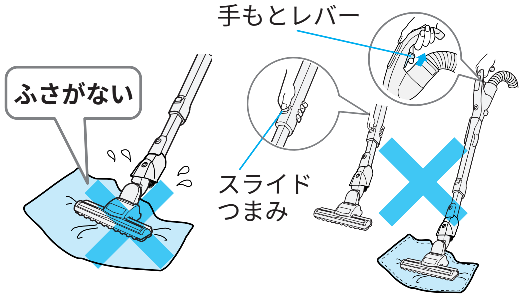
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。



パワーヘッド(吸込口)

●吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。

●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

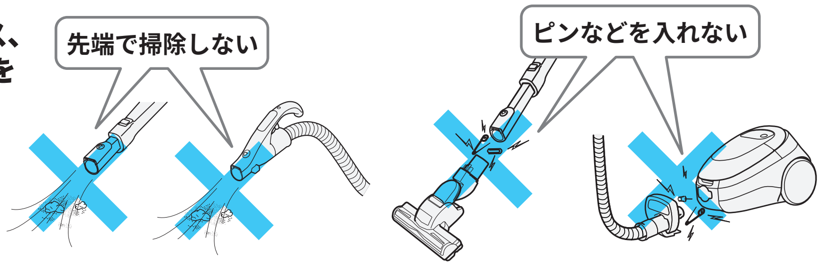


ホース・延長管

●ホースや延長管の先端で掃除しない

●破れたり、傷ついたホースを使わない

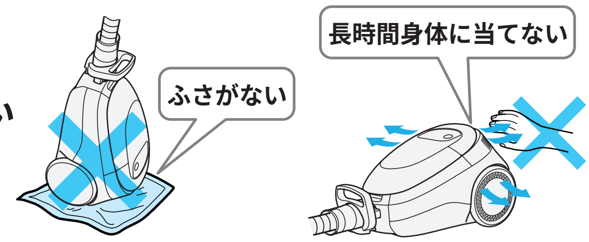
●ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない



排気口

●排気口をふさがない

●排気口から出る風を、長時間身体に当てない
やけどをすることがあります。



そのほか

●引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない

●本体に乗らない

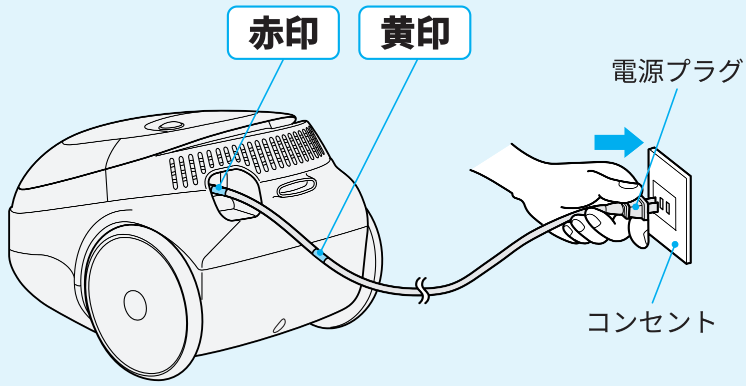
●火気に近づけない



運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、Wブルッとエンジンが働きます。→ P.3

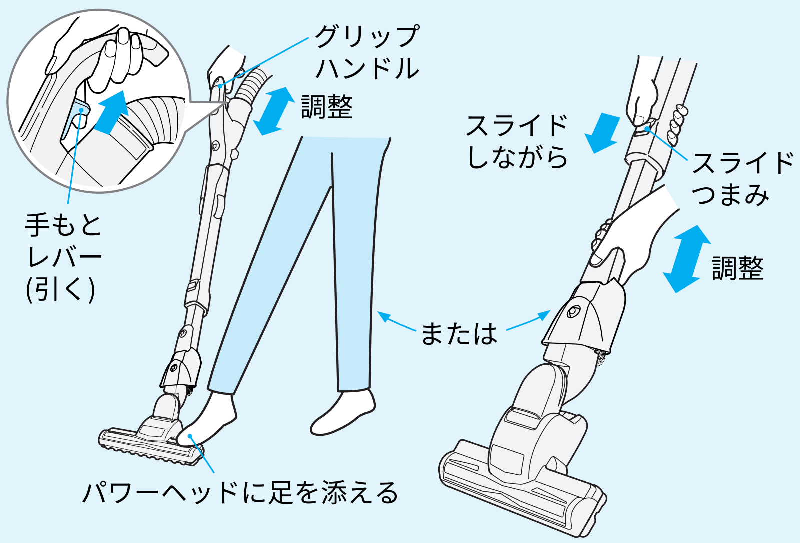


お願い

- 電源コードは赤印以上引き出さないでください。
- 延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。
  電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅/点灯する場合があります。→ P.17

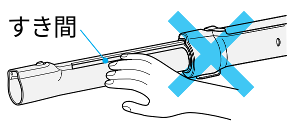
2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる



お願い

- 運転中に手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。
  延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
- 延長管のすき間に手などを入れないでください。
  けがをすることがあります。



③ 運転スイッチを押す



手動で運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り換わり、運転します。

強 **じゅうたんの念入りなお掃除に**

中 **ふつうのお掃除に**

弱 **ゆか、たたみなどのお掃除に**

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転速度が変わります。

回転ブラシの回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り換わります。

「パワーブラシ切/入」スイッチを押すだけでは、掃除機本体や回転ブラシは作動しません。

「これっきりボタン」で運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

自動で運転したいとき

「これっきりボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り換えます。

➔P.10

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転速度も変わります。

お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り換えます。

- **ゆか面の凹凸や傷み**
- **じゅうたんの毛の向きや倒れ具合**
- **パワーヘッドの操作速度および方向転換**
- **パワーヘッドの停止**

このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り換わることがあります。

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。

お願い

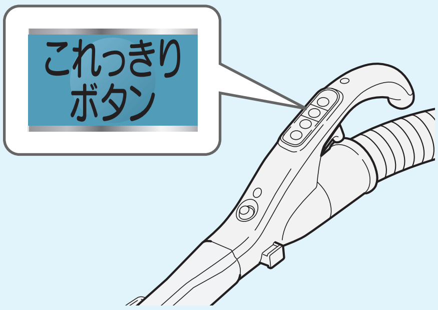
- 手もと操作部に衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。故障の原因になります。
- 吸込口をふさいだ状態で、「強/中/弱」スイッチや「これっきりボタン」を押さないでください。ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転のしかた(続き)

「これっきりボタン」による自動運転ついて

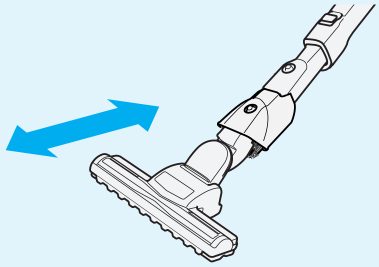
1 「これっきりボタン」を押す

最初は「強」運転になります。



2 パワーヘッドを前後に動かす

センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、ゆか面に適した自動運転を開始します。

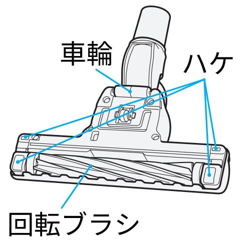


こんなときは…

- **パワーヘッドをゆか面から浮かせているときは、パワーヘッドを浮かせる前の運転状態を保ちます。**
- **「これっきりボタン」で自動運転中に、パワーヘッドを取り外したときは、パワーヘッドを取り外す前の運転状態を保ちます。**
- **パワーヘッドを取り外した状態で、「これっきりボタン」を押して運転を開始したときは、「強」運転を保ちます。**
- **「これっきりボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても回転ブラシの回転は止まりません。**

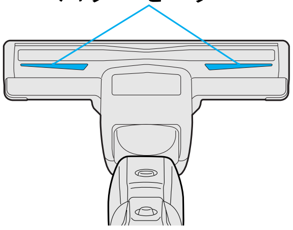
お願い

●パワーヘッドの車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.25、26



パワーモニターについて

●パワーモニターの色で、本体の運転状態や回転ブラシの回転速度をお知らせします。



本体の運転状態	回転ブラシの回転速度	パワーモニターの色
「強」運転のとき	高	赤
「中」運転のとき	中	オレンジ
「弱」運転のとき	低	緑

「これっきりボタン」で自動運転しているときは、運転状態に合わせてパワーモニターの色が変わります。

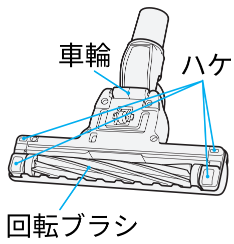
- **パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転が止まります。** ➔ P.11
- **パワーヘッドの保護装置** ➔ P.22 **が働いているときは、パワーモニターは点灯しません。**
- **「パワーブラシ切/入」スイッチで回転ブラシの回転を止めているときは、パワーモニターは点灯しません。**

お掃除のしかた

パワーヘッドの動かしかた

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

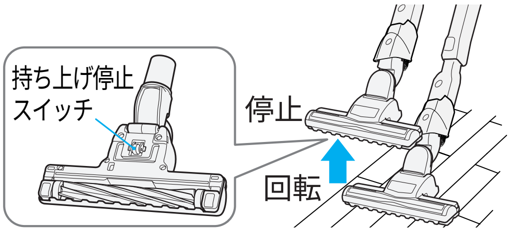
お願い
●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このときは「弱」運転に切り換えてください。
●ひのきなどのやわらかいゆかの場合には、パワーヘッドをゆか面に強く押しつけないでください。ゆかの傷つきを防ぐためです。
●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、ゆか面を傷つけるおそれがあります。磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。（車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。）
➔ P.25、26



パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて、回転ブラシの回転が止まります。

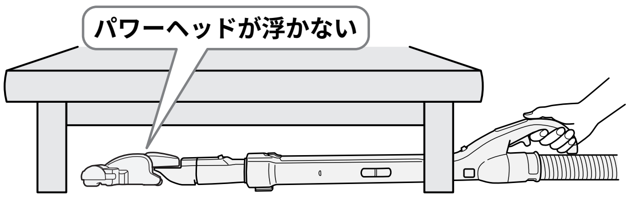
●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは ➔ P.20

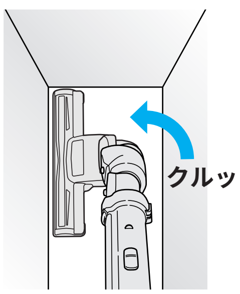


お願い ●パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転し、手などをけがすることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

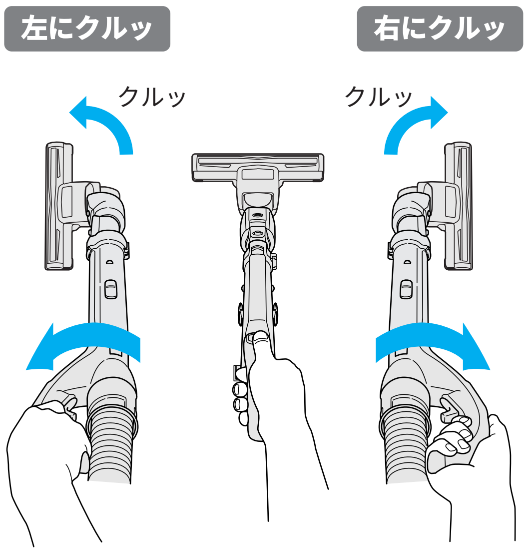
ペタリンコ構造・クルッと構造

ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。
また、パワーヘッドがクルッと回ってすき間もスムーズにお掃除できます。





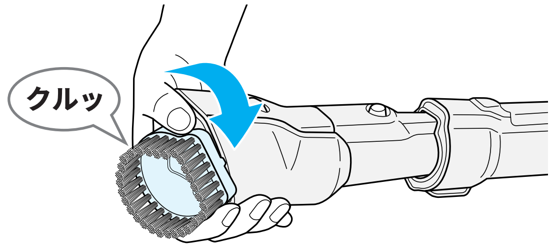
グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。



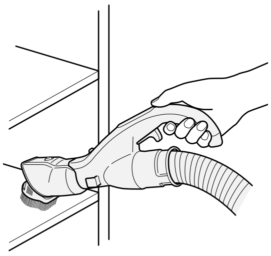
お掃除のしかた(続き)

クルッとブラシ

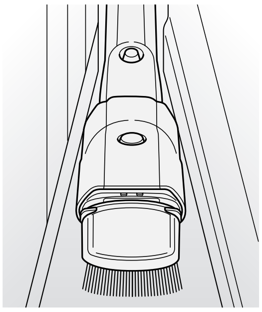
●パワーヘッド(または延長管)を外すとブラシが出ます。ブラシを回して角度が変えられます。
パワーヘッド(または延長管)を元どおり取り付けると、ブラシが収納されます。



棚の上も



すき間も

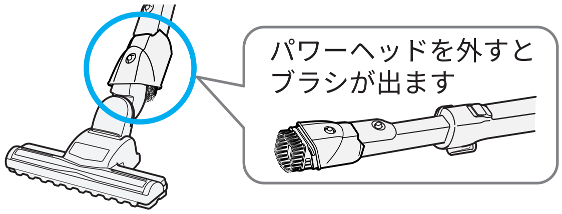


お願い

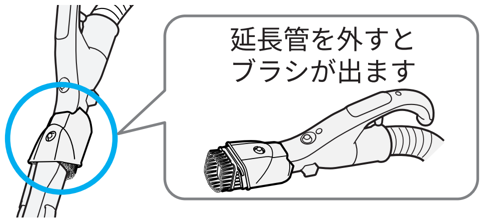
●ピアノなど特にやわらかい場所にはブラシを押し付けないでください。
傷つきの原因になります。

●クルッとブラシは、吸口側、手もと側のどちらでも接続できます。

吸口側に接続して



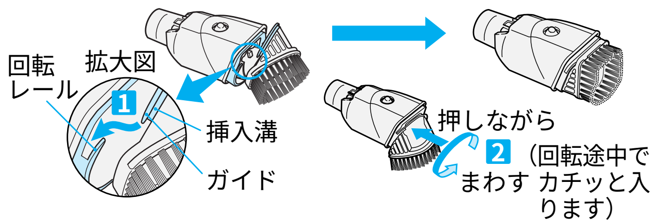
手もと側に接続して



使用中にブラシが外れた場合(ブラシの取り付けかた)

1 ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる

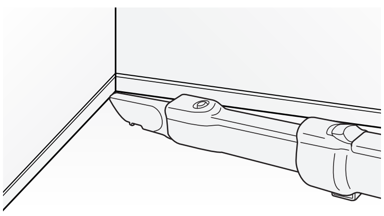
2 ブラシを押しつけながら、回転させる



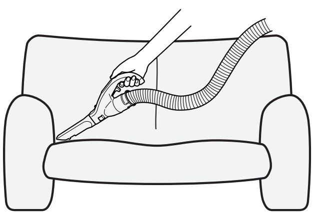
すき間用吸口

●狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

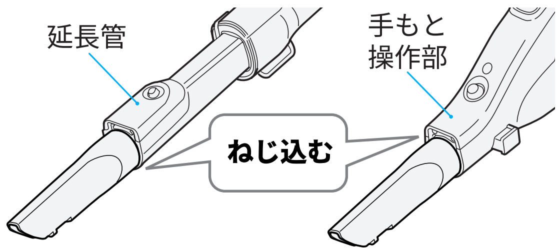
お部屋の隅のお掃除に



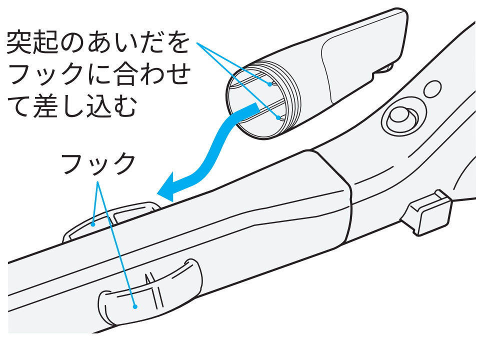
ソファーの隅などのお掃除に



●延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。

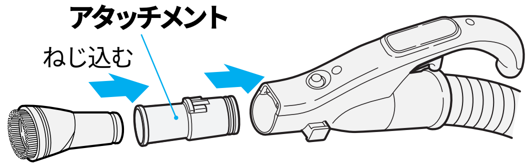


●左右いずれかのフックに差し込んで収納します。



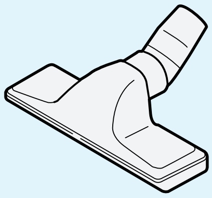
あると便利な別売り吸口

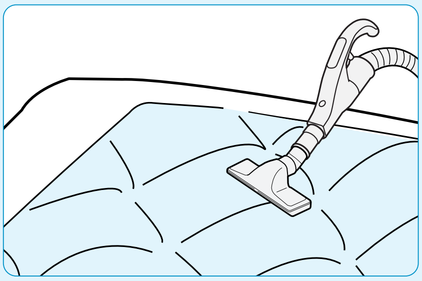
●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口が使えます。➔ P.26
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。



■ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ホコリ・糸くずなどを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。

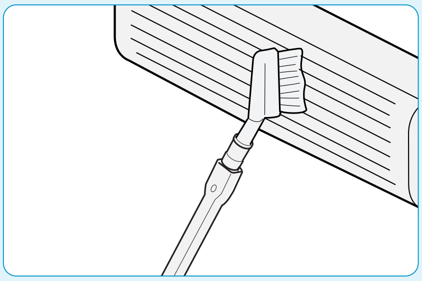




■はたき吸口(D-H3)

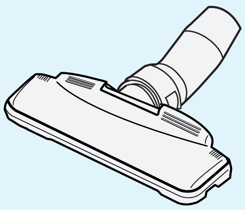
はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。

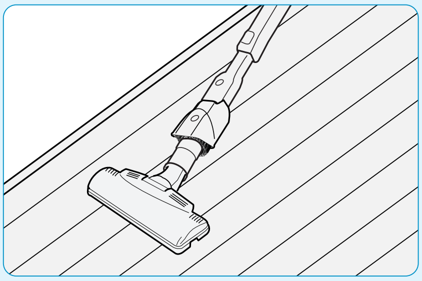




■丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

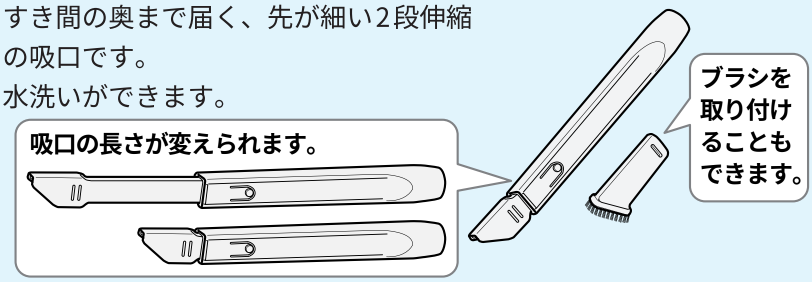
フローリング、たたみに適した大きめの拭き専用ブラシ付きの吸口です。
(「中」「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。

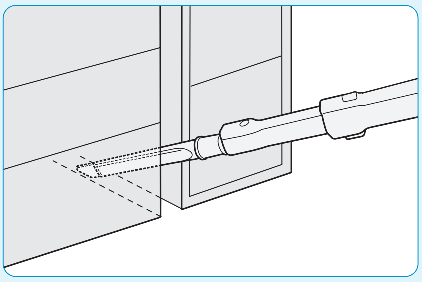




■伸縮すき間用吸口(D-SH2)

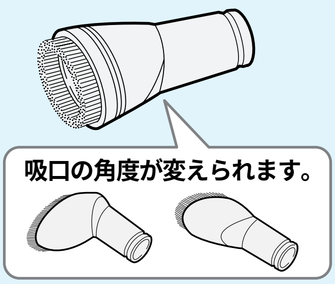
すき間の奥まで届く、先が細い2段伸縮の吸口です。
水洗いができます。

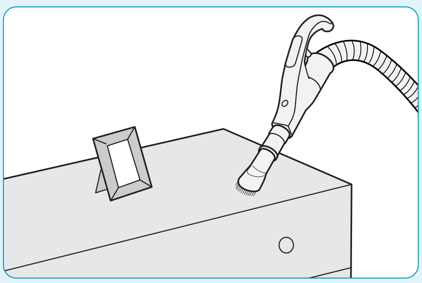




■棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する吸口です。
水洗いができます。





ごみの捨てかた

●お掃除が終わったら、ダストケースを取り外し ➔ P.5 、
1「立体フィルター」と **2**「ダストフィルター」のごみを捨ててください。
●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。➔ P.17
●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。➔ P.16

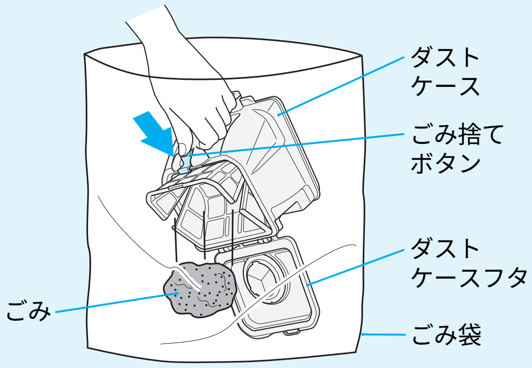
お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

●強い吸込力でお掃除していただくため、毎回のお掃除ごとのごみ捨てをおすすめします。

1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

ダストケースフタを下に向けてごみ捨てボタンを押し、ごみを捨てる

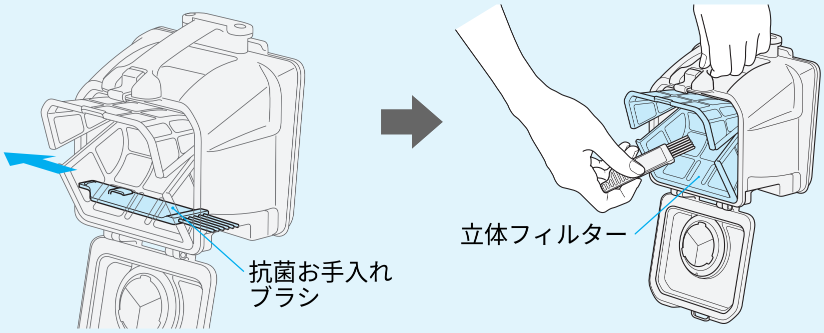


お願い
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 立体フィルターに付着したごみを取り除く

ダストケース底面に取り付けられている抗菌お手入れブラシを取り外す

目詰まりを取り除く

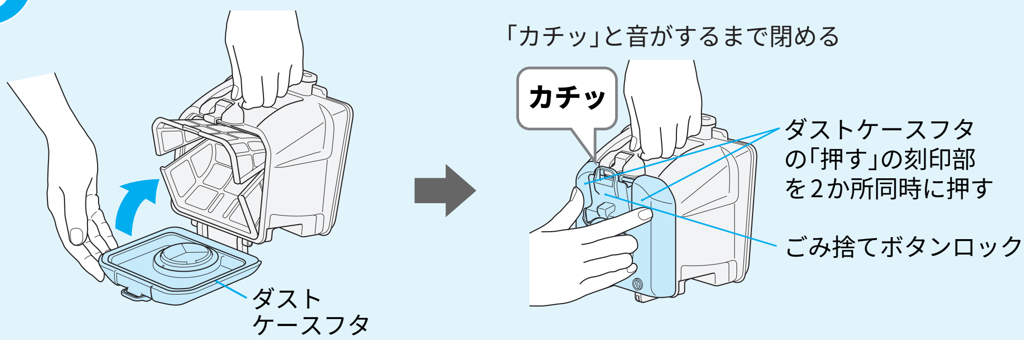


お願い
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利な物を誤って吸い込んだときは、手を直接触れないで捨ててください。けがをするおそれがあります。

●立体フィルターは取り外しできません。

3 ダストケースフタを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める



●ごみ捨てボタンロックを押すと、ダストケースフタが閉まりません。

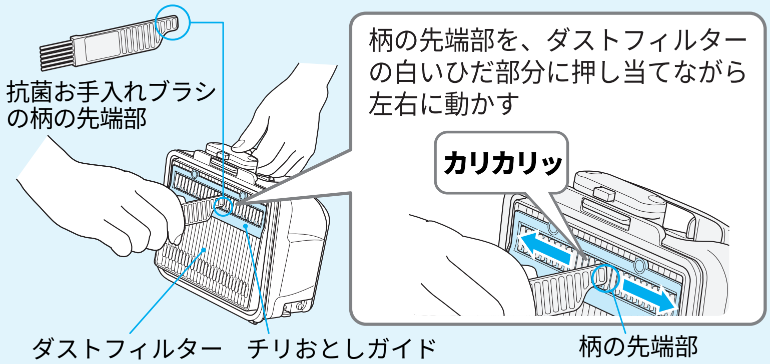
2「ダストフィルター」のごみの捨てかた

●強い吸込力でお掃除していただくため、1か月に2回程度のごみ捨てをおすすめします。

1 ダストフィルターのチリを落とす

抗菌お手入れブラシの柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

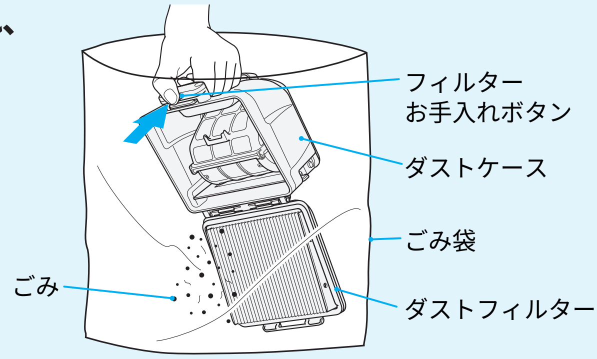
●これによりダストフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。



2 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、フィルターお手入れボタンを押す

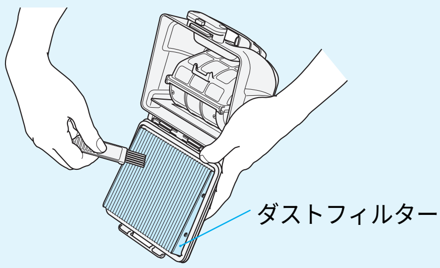
ダストフィルターを下に向けてフィルターお手入れボタンを押し、ごみを捨てる

●ダストフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

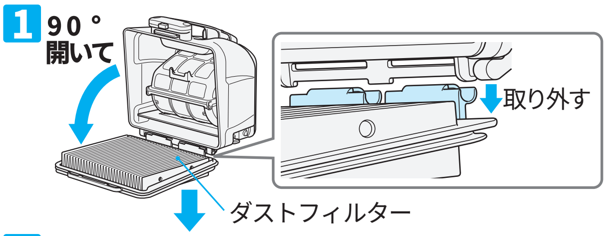


3 ダストフィルターに付着したごみを取り除く

ダストフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみを抗菌お手入れブラシで取り除く



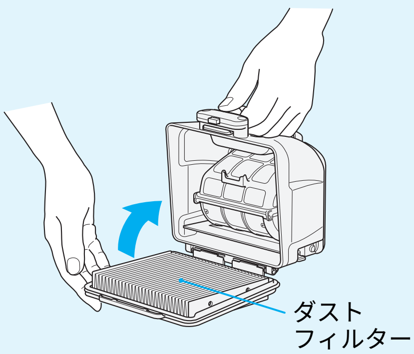
●取り外してお手入れすることもできます。



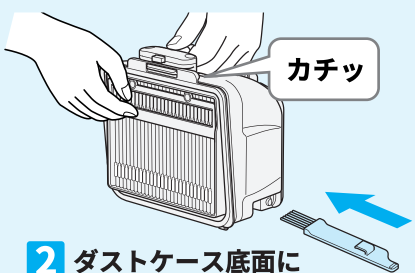
2 下方向に取り外す

●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 ダストフィルターを閉め、抗菌お手入れブラシを取り付ける



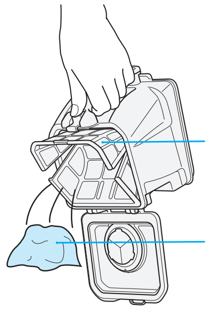
1 「カチッ」と音がするまで閉める



2 ダストケース底面に抗菌お手入れブラシを取り付ける

ごみの捨てかた(上手な使いかた)

●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。



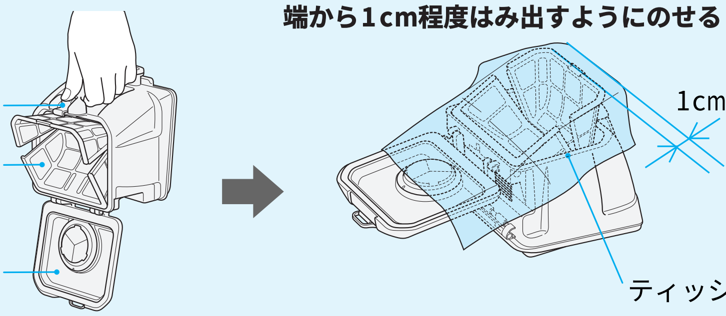
お願い
●ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。

ティッシュペーパーの取り付けかた

1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

ごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開ける

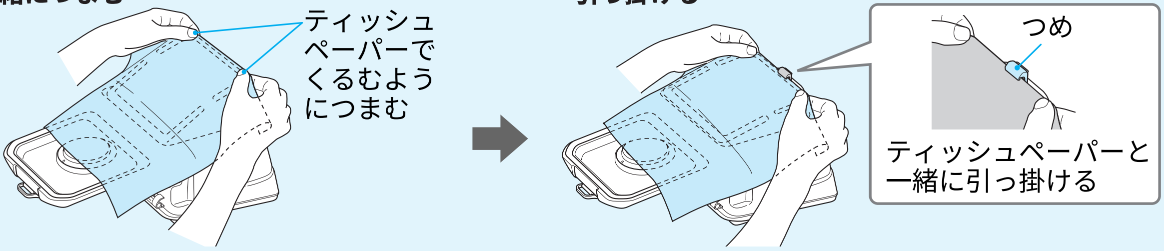
ティッシュペーパーの端が、立体フィルターの端から1cm程度はみ出すようにのせる



2 立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

立体フィルターの端をティッシュペーパーと一緒につまむ

立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける



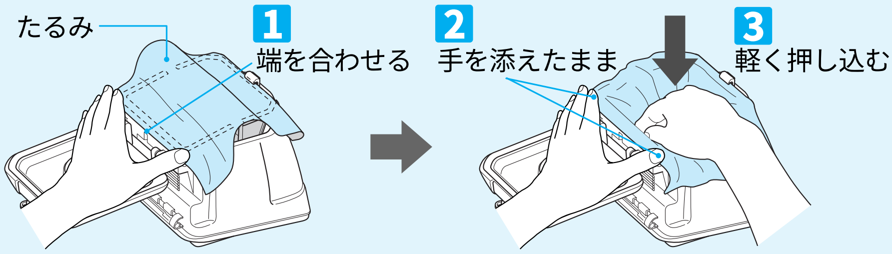
3 ティッシュペーパーを立体フィルターの中へ軽く押し込む

1 ティッシュペーパーの端をダストケースの端に合わせる(中央にたるみができます)

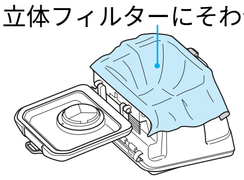
●ティッシュペーパーを折りたたむ必要はありません。

2 ティッシュペーパーの端に手を添えたまま、

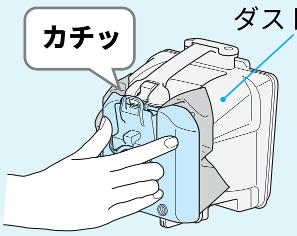
3 立体フィルターの中へ軽く押し込む



お願い
●ティッシュペーパーは、立体フィルターにそわせて取り付けてください。
ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります。

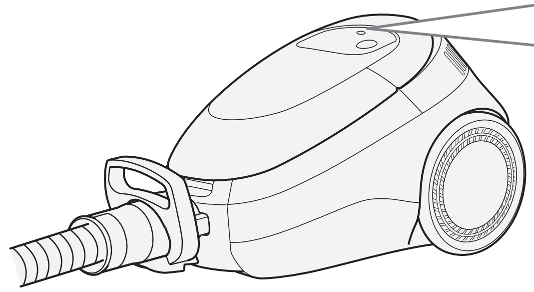


4 ダストケースフタを閉める



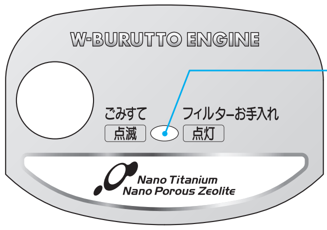
●ティッシュペーパーがダストケースからはみ出していても問題ありません。
●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

本体のランプ(ごみすて/フィルターお手入れ)について



点滅　ごみ捨てのお知らせ(目安)です。➔P.14、15

点灯　フィルターお手入れ(水洗い)のお知らせ(目安)です。➔P.18



●本体のランプが点灯すると同時に、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転が止まります。➔P.22 本体のランプが点灯しているときは、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシは回転しません。

こんなときは…

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
少量のごみでも「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

●綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「本体のランプ」が点滅／点灯しないことがあります。
毎回のお掃除ごとの「立体フィルター」のごみ捨てをおすすめします。
また、1か月に2回程度の「ダストフィルター」のごみ捨てをおすすめします。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたとき、すき間用吸口をご使用のとき
吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が点滅／点灯することがありますが、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早く「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

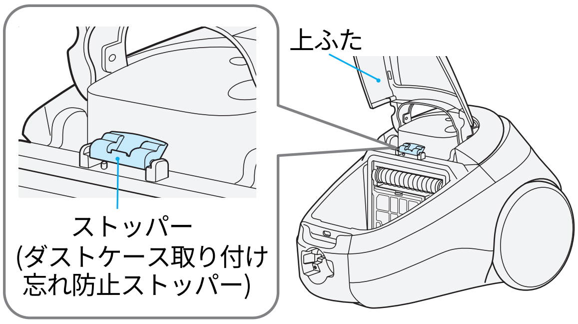
●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅／点灯することがあります。
定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。

●本体のランプが点滅したまま運転を続けたとき
本体のランプが点灯することがあります。
「立体フィルター」と「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。必ず、ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。



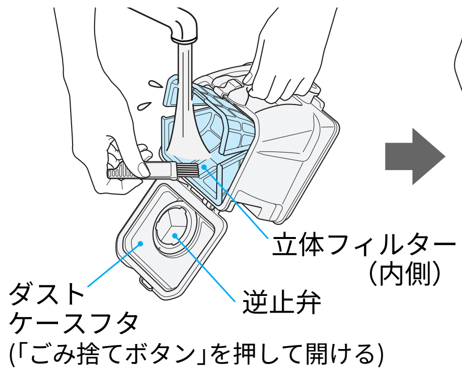
吸込力が弱くなったら

ダストフィルターのごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「本体のランプが点灯した」とき

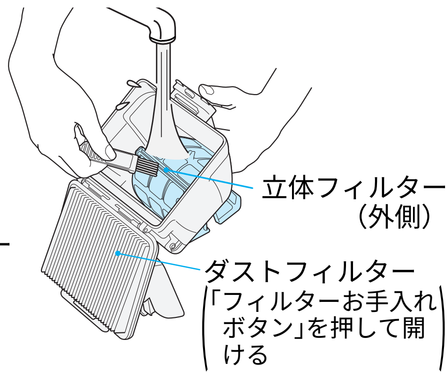
●各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります。)

立体フィルター(内側、外側)

●ダストケースフタを開けて内側を水洗いしてください。



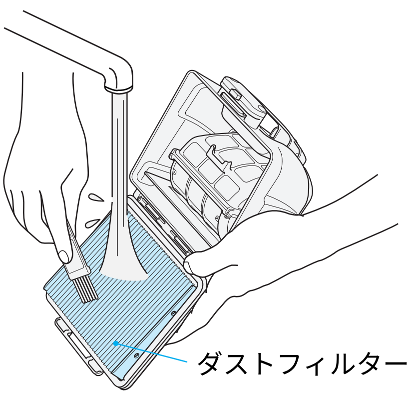
●ダストフィルターを開けて外側も水洗いしてください。



お願い
●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因になります。

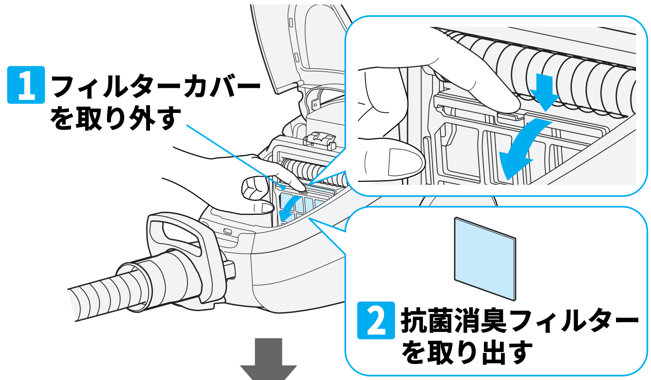
ダストフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

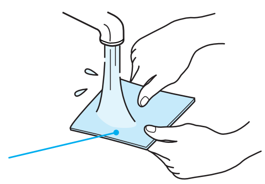


●取り外してお手入れすることもできます。 → P.15

抗菌消臭フィルター
(ナノチタン・アレルオフ・ナノポーラスゼオライト抗菌消臭フィルター)



水で軽くもみ洗いし、
たたいて水気を切り、
自然乾燥させる

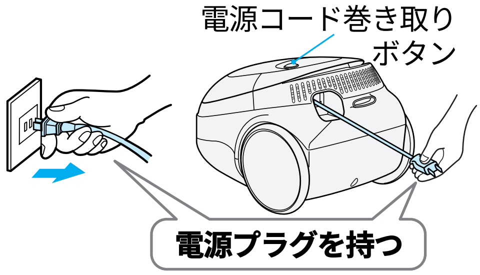


お願い
●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因になります。
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属の抗菌お手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因になります。
●ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 → P.25、26

あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。(跳ね上がりによるけが、家具への傷つきを防ぐためです。)

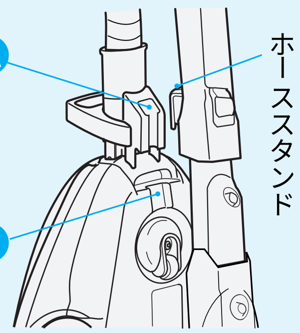


収納のしかた

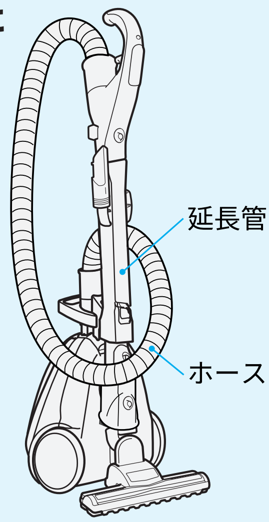
1 延長管を縮めて →P.8 **取り付け溝にホーススタンドを差し込む**

クルッとブラシを吸口側に付けているとき→P.12はAの取り付け溝に

クルッとブラシを手もと側に付けているとき→P.12はBの取り付け溝に

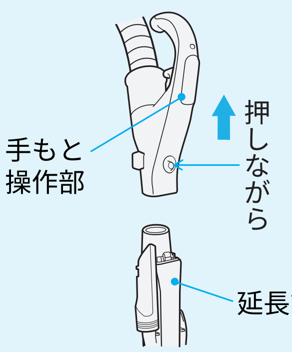


2 ホースを延長管に巻きつける

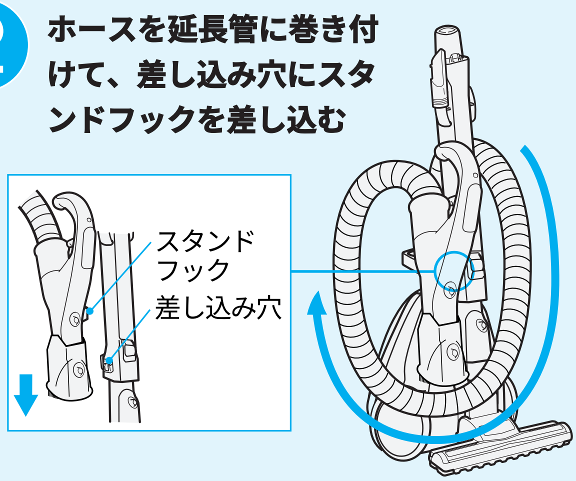


さらにコンパクトに収納したいとき

1 手もと操作部を延長管から外す



2 ホースを延長管に巻き付けて、差し込み穴にスタンドフックを差し込む



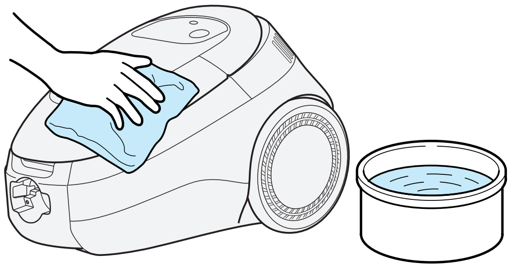
お願い
- ●収納状態のままで持ち運ばないでください。
  ホースや延長管が外れた場合危険です。
- ●ストーブの近くや高温になる場所での収納はしないでください。
  ホースの変形や故障の原因になります。
- ●ホースが変形するような状態での収納はしないでください。

お手入れのしかた

本体・付属品

●汚れが気になるときはお手入れしてください。

水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふく



お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、中性洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因になります。

パワーヘッド

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。

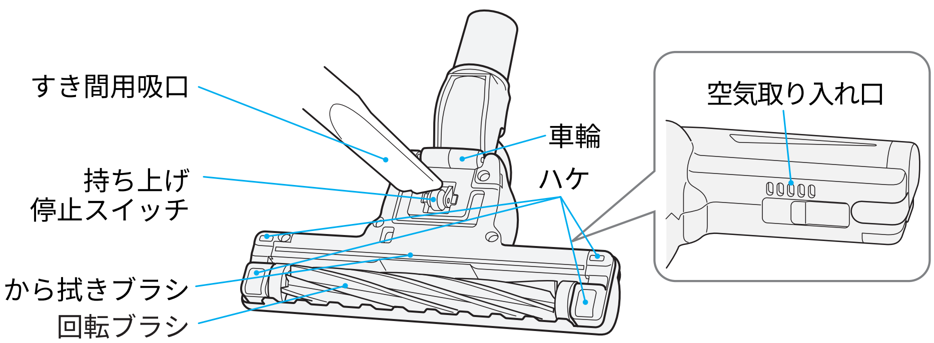
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因になります。

お願い ●パワーヘッドを取り外してからお手入れしてください。

付着したごみを取り除く

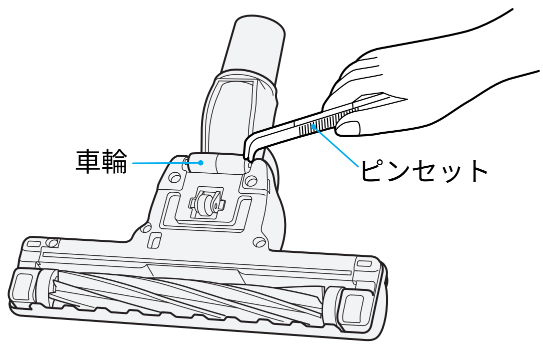
すき間用吸口を使ってごみを吸い取ることもできます。



お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。
●車輪やハケが磨耗していると、ゆか面を傷つけるおそれがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。→ P.25、26

車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。

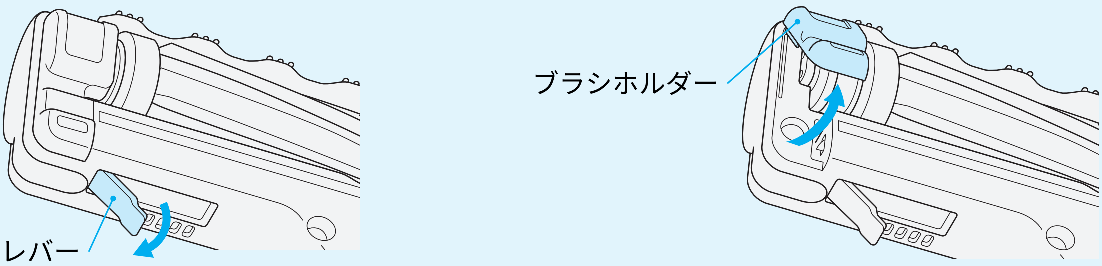


回転ブラシをお手入れする

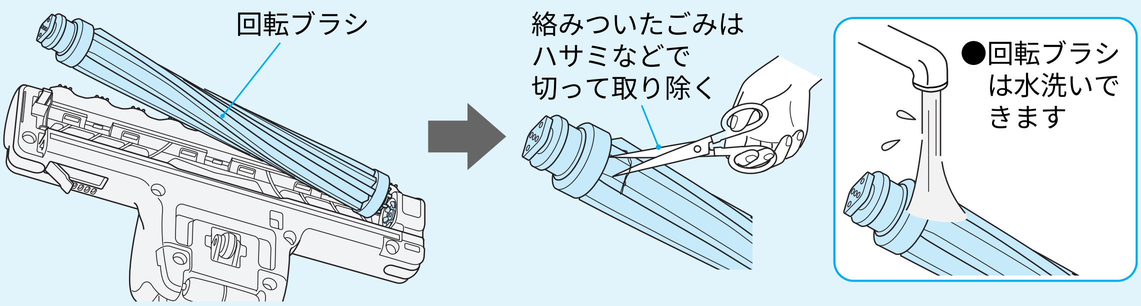
1 ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

2 ブラシホルダーを取り外す



2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

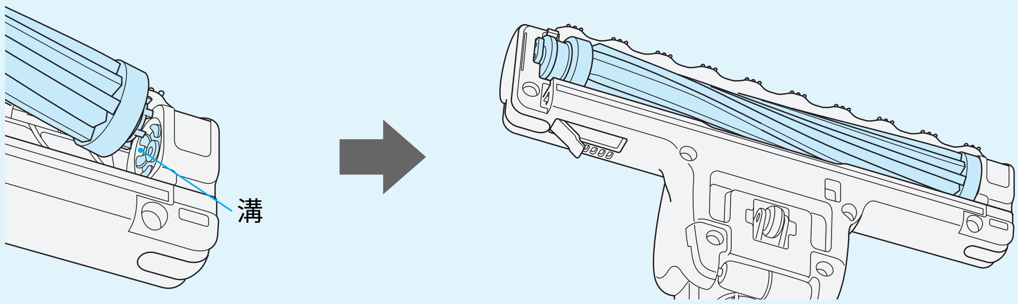


お願い
●ベンジン、シンナー、アルコール、中性洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因になります。
●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

2 元どおり取り付ける

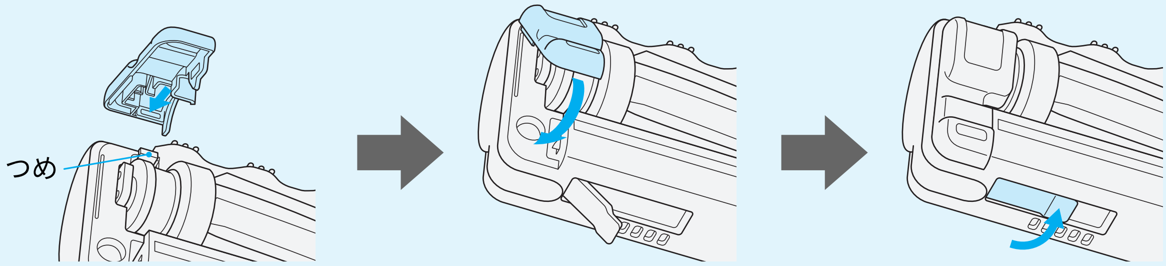


4 ブラシホルダーを取り付ける

1 つめを引っ掛ける

2 ブラシホルダーを取り付ける

3 レバーを閉める



故障かなと思ったら

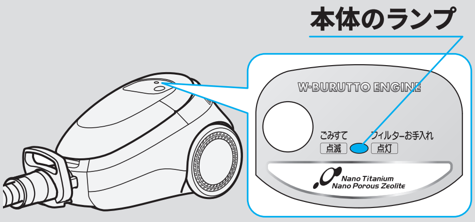
修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

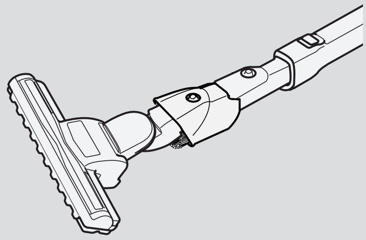
本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

本体が運転できない



パワーヘッドの回転ブラシが回転しない



保護装置と原因

本体が運転できない

本体のランプが点灯したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に「弱」運転になります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

本体のランプが点灯すると同時に、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・延長管のごみ詰まり

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

回転ブラシに異物の噛み込みなどがある状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。

- 異物の噛み込み
- ゆかやじゅうたんなどへの押し付け

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

↓

- ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をする →P.14～18
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース・延長管に詰まったごみを取り除く
- 回転ブラシに噛み込んだ異物を取り除く →P.20、21

↓

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。 (2)フィルターにごみが付着していませんか。	(1)ごみを捨ててください。	P.14 P.15
		(2)各フィルターのお手入れをしてください。	P.18
ダストケースのごみがいっぱいではないのに吸込力が弱い 本体のランプが点滅／点灯する	(1)フィルターにごみが付着していませんか。 (2)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。 (3)パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.18
		(2)ごみを取り除いてください。	–
		(3)ごみを取り除いてください。	P.20 P.21
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントでご使用になると、電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅／点灯する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。		–
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口、クルッとブラシをカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後は、パワーヘッドに力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	–
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 (2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.8
		(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.4 P.5
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)パワーブラシが「切」になっていませんか。 (2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドがしっかり接続されていますか。 (3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。 (4)回転ブラシ、持ち上げ停止スイッチにごみなどが付着していませんか。	(1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9
		(2)しっかりと接続してください。	P.4 P.5
		(3)ゆか面から浮かせると止まる機能になっています。	P.11
		(4)ごみを取り除いてください。	P.20 P.21
パワーモニターが点灯しない	パワーブラシが「切」になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9

故障かなと思ったら(続き)

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
本体から「ピー」という音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	−
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。		−
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		−
排気から異臭が出る	(1)フィルターにごみが付着していませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.18
	(2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.18
クルッとブラシのブラシが出ない	内部にごみが詰まっていませんか。	ごみを取り除いてください。 ブラシに付着したごみは「すき間用吸口」で吸い取ってください。	−
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.25

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」→ P.22～24 をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

1 型式－CV-SL10
2 症状－できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

●保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
●保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭用以外でご使用になるとき

●共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(パワーヘッドなど)が必要になることがあります。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってご使用になることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常があるとき。	▶	**ご使用中止**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

＜受付時間＞ 365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間)／9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

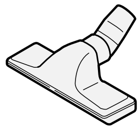
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2007年7月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口をご使用になる場合は、付属の別売り部品接続用アタッチメントをご使用ください。➔ P.13

●ふとん用吸口(G-52)



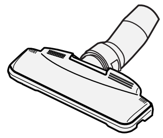
希望小売価格
1,785円(税抜 1,700円)

●はたき吸口(D-H3)



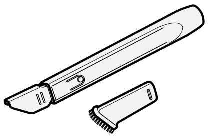
希望小売価格
3,990円(税抜 3,800円)

●丸洗いフローリングヘッド(D-F3)



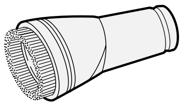
希望小売価格
5,250円(税抜 5,000円)

●伸縮すき間用吸口(D-SH2)



希望小売価格
1,680円(税抜 1,600円)

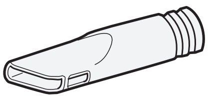
●棚用自在吸口(D-TJ2)



希望小売価格
1,260円(税抜 1,200円)

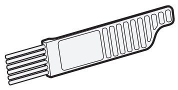
●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

●すき間用吸口



サービスパーツ
CV-SJ10-030
すき間用吸口
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●抗菌お手入れブラシ



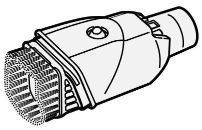
サービスパーツ
CV-SK20-001
抗菌お手入れブラシSK
とご指定ください
希望小売価格
420円(税抜 400円)

●サッとハンドル



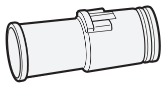
サービスパーツ
CV-SJ10-029
サッとハンドルSJ10
とご指定ください
希望小売価格
1,260円(税抜 1,200円)

●クルッとブラシ



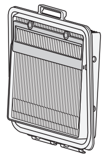
サービスパーツ
CV-SJ10-033(シャンパン)
CV-SJ9-020(アクアマリン)
クルッとブラシ
とご指定ください
希望小売価格
2,100円(税抜 2,000円)

●別売り部品接続用アタッチメント



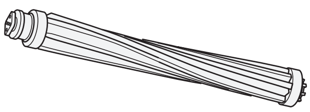
サービスパーツ
CV-SK20-027
アタッチメントブクミ(SK)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●ダストフィルター



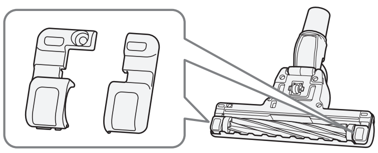
サービスパーツ
CV-SL10-013
Bフィルタークミ SL
とご指定ください
希望小売価格
1,470円(税抜 1,400円)

●回転ブラシ



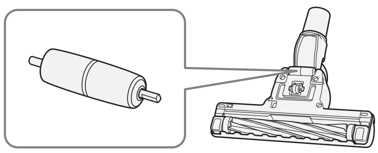
サービスパーツ
CV-SL10-033
ロータリブラシクミ(AP19)
とご指定ください
希望小売価格
2,520円(税抜 2,400円)

●ブラシホルダー(ハケ)



サービスパーツ
CV-SL10-031
ジクウケカバーL,Rセット(AP19)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●車輪



サービスパーツ
CV-SK20-022
ローラLセット
とご指定ください
希望小売価格
840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電　　源	100V　50-60Hz共用	**質　　量**	5.3kg(標準付属品を含む)
消費電力	1000W〜約300W	**本体寸法**	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
吸込仕事率	570W〜約80W	**標準付属品**	ホース……………………………1本 パワーヘッド………………………1個 延長管……………………………1本
運転音	59dB〜約53dB		
集じん容積	0.5L	**付属応用部品**	サッとハンドル……………………1個 すき間用吸口………………………1個 抗菌お手入れブラシ………………1個 クルッとブラシ……………………1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個
コードの長さ	5m		

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称
抗菌効果	パワーヘッド	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902に準ずる*	繊維に付着	刷毛
	抗菌ケース	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	ダストフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌消臭フィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布

＊蛍光灯照射時(1,000lx)

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名	電話
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111

3-L4476-4A　　G7(H)